

前回会議の振り返り

- (1) 令和 5 年度「読書ボランティア人材養成講座」実施結果について
- (2) 報告書の作成に向けて

①令和 5 年度「読書ボランティア人材養成講座」の改善案について

- ・改良後のチラシは良くなっていた。
- ・受講者が増加しており、講座は成功であったと思う。
- ・この講座を毎年開講するのであれば、毎年同じ時期に開講すると良いのではないか。そうすることで、毎年恒例の講座となり、浸透していくと思われる。
- ・QRコードでの申込みは、事務局側にとっても、申込者側にとっても利便性がある。
- ・SNSでの情報発信とチラシの配布は効果が期待できる。
- ・講座受講者へアンケートを取るなどして今後の活動にうまくつなげていくことが課題

事務局として

- 今後の人材発掘において、講座開催に際しては、いただいた御意見を踏まえ良いものとしていきたいと考えており、効果のあった工夫などについて、報告書に盛り込んでおります。

②報告書の作成に向けて

- 地域で活躍する若者の育成について議論いただきたい点

1) 今期の取り組みにおいてわかったこと

【事務局】

- ・学びへの入り口や活動へのつながり方（出口）について工夫することで、より多くの若い世代を取り込み、地域活動につなげられる可能性がある。
- ・今回の講座開催手法は、読書にかかわらず、多様な学びの活動者を育成することに応用できる。

2) 地域において学びから活動への仕組みを実践していくには、どんなことが必要と思うか。

【事務局】

- ・既存の活動に入る場合、活動時間や内容を細分化することにより、参加へのハードルを下げられる可能性がある。
- ・学びから活動までのステップとして、フォローアップや練習機会があった方良い。

- ・40代の子育て世代は、平日午前が都合が付きやすく、受講者の増加につながったのでは。
- ・申し込み方法にQRコードを追加したことによって受講者増加につながった。
- ・市民は学ぶ意欲は高く持ち、アンテナを張っていると考えられるので、多様な情報発信が大切である。
- ・地域の多様な場所・空間での学びから、活動するための「受け皿と環境」が必要であり、活動の受け皿の情報があると良い。



事務局として

○今期の取り組み結果についての検証や、取り組みを通じてわかったことなど、報告書に盛り込み、他の分野にも活用でき、今後の人材育成に役立つ報告書といたく考えております。